

2022年度 日本工学院専門学校											
電子・電気科／電気工事コース											
高圧電気技術 2											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	若林 恵美			実務経験	無	職種	電子・電気科 専任教員				
担当教員紹介											
日本工学院専門学校で教員として16年教育に携わる。電気系の保有資格は第二種電気工事士。											
授業概要											
この科目を受講する学生は、電気工事の施工技術の高度化に対応し、それに応じた電気工事の質的水準を確保するために、電気工事に従事する者の、専門的な知識の向上を図ることを目的にします。											
到達目標											
この科目では建設現場において、電気工事の災害の防止、施工計画書の作成、安全遵守、第三者との調整などを、行うエキスパートとして活躍できる「2級電気工事施工管理技士」の合格を目標にします。											
授業方法											
この授業では、自分の学びの意義を見出し、自分と関わる友達の学びも大切にします。具体的には、個人ワークやグループワークを取り入れ、共に高めあう喜びや、価値感を共有し、主体的に学びを進める力を身につけることを目標とします。											
成績評価方法											
試験	60%										
課題	30%										
平常点	10%										
履修上の注意											
この授業では、学生間、教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、理由のない遅刻や欠席は認めない。社会への移行を前提としたマナーで、授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しないものは定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	「2級電気施工管理技士」の試験の内容を把握する										
第2回	基本的な公式を復習し理解する										
第3回	静電容量の求め方を復習し、理解する										
第4回	クーロンの法則・フレミングの左手・右手の法則を復習し理解する										
第5回	電気抵抗、キルヒホッフの法則を復習し理解する										

2022年度 日本工学院専門学校	
電子・電気科／電気工事コース	
高圧電気技術 2	
第6回	三相交流の線間電圧、相電圧の基本計算を復習し理解する
第7回	指示計器の動作原理、記号のまとめ
第8回	基本的な公式を復習し理解する
第9回	同期発電機の並列運転の条件を復習し理解する
第10回	同期発電機の極数と同期速度の式を復習し理解する
第11回	変圧器の結線方式の特徴を復習し理解する
第12回	問題の内容を把握する
第13回	自分で理解する力を養う
第14回	60%以上の正解を目指す
第15回	全体のまとめ